

新型コロナウイルス感染に関するご報告

ぼぬーる・グループホームつばさにおける感染拡大について

生活介護事業所ぼぬーるにおいて、12月11日の日中に職員2名が発熱し、PCR検査で陽性が確認されました。内職員1名は、グループホームつばさでの夜勤明けであったため、以降ぼぬーる及びグループホームつばさの閉鎖対応をおこない、保健所の指示に基づきグループホーム内のゾーニングを実施しました。しかし、その後も感染が広がり、受診によるPCR検査、抗原検査、及び11月18日のPCR行政検査までに利用者4名、職員6名の陽性が確認されました。グループホームつばさの閉鎖を継続し、ぼぬーる在宅の利用者の利用も控えていただきました。常勤職員12名中6名が罹患したため、職員体制がままならず、11月16日以降、体調観察期間内に症状がみられなかった一部の利用者の利用を随時再開しながら、陽性となったグループホームつばさ利用者の療養及び体調観察をおこいました。11月21日より、感染しなかったすべての在宅利用者の利用再開、11月24日、感染したすべての職員が勤務復帰、11月26日に最後に陽性が確認されたグループホームつばさ利用者の健康観察期間が終了し、11月28日よりすべての利用者のぼぬーる通所を再開しております。

最終的に利用者4名、職員6名の計10名が感染する結果となりました。

長期にわたり、利用者の皆様、ご家族の皆様へ多大なるご不便、ご心配をおかけしましたことを心よりお詫び申し上げます。また、この間のご協力や励ましに対しまして、改めて感謝申し上げます。

今回の感染拡大から得た知見をもとに再発防止に向けて全力で取り組んでまいります。